

ターペン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料

# ニッペ 1液ファインウレタンU100

1液ウレタン樹脂塗料のベストセラー



ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆



1液ファインウレタンU100シリーズ ▶ 1液ファインウレタンU100 / 1液ファインウレタンU100弾性添加剤 / 1液ファインウレタンU100フラットベース

**NIPPON PAINT CO.,LTD.**

# ニッペ 1液ファインウレタンU100

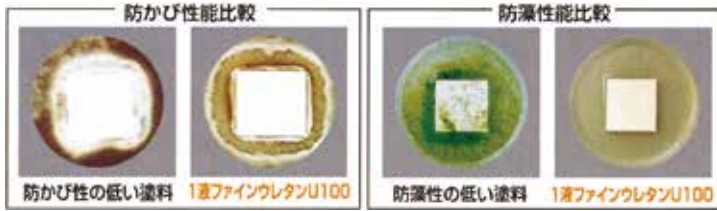
## 特長

### 1. 環境にやさしい

鉛などの重金属を配合していません。もちろん、ホルムアルデヒド・クロルピリホス(防蟻剤)も配合していません。

### 2. 防藻・防かび

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境を守ります。



### 3. 低汚染性

独自のセラミック親水化技術により、すぐれた低汚染性を有しています。

### 4. 高耐候性

架橋による三次元網目構造技術により、高耐候性を発揮します

### 5. 透湿性

透湿性が高いため結露から建物をまもります。

### 6. 1液架橋ウレタン樹脂

2液の信頼性を1液常温反応硬化NAD技術で実現しました。硬化剤を入れる必要がないため、硬化剤の入れ忘れ、計量の煩わしさがありません。またポットライフ(可使用時間)がありませんので、塗料をムダにしません。

### 7. 抜群の作業性・多目的用途

塗装時の発泡もなく、抜群の塗りやすさです。すばやく乾燥するので、冬場の施工に最適です。また、各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、鉄部、FRP、硬質塩ビ部などの新設、塗り替えに幅広く適用できます。

### 8. ターペン可溶

塗料用シンナーAで希釈するタイプですので、改修時に下地を気にせず安心してご使用いただけます。また臭気が柔らかく、環境にやさしい塗料です。

## 主な適用下塗り塗料

ニッペパーフェクトフィラー  
ニッペパーフェクトプライマー  
ニッペアンダーフィラー弾性エクセル  
ニッペ1液ファインウレタンU100木部下塗り<sup>注1)</sup>

ニッペパーフェクトサーフ  
ハイボンファインプライマーII  
ニッペDANフィラーエポ<sup>注2)</sup>

## 適用基材

ニッペタイルラックEMA-Sベース100K  
ニッペタイルラックシリカ-Sベース

ニッペタイルラック1液EPO-Sベース  
DANタイル中塗り<sup>注2)</sup>

注1)「ニッペ1液ファインウレタンU100木部下塗り」は、エポキシ樹脂塗料であるため「1液ファインウレタンU100」とは混ざりません。

注2) ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加・混入してください。(塗料・添加剤=20:1 つや有りのみ適用)

※上記以外にも使用できる塗料がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

適用下地	●コンクリート面(現場打ち)	●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜)
	●モルタル仕上げ面	●ALCパネル ●鉄部 ●FRP ●硬質塩ビ部

## 〈使用上の大切なお知らせ〉

「ニッペ1液ファインウレタンU100」は一般的な内・外装を対象とした化粧用塗料です。耐摩耗性・耐油性・耐溶剤性等が求められる下図の部位には使用できません。

(理由:塗膜が軟化、磨耗により粘着や色うつりする場合があります。)



カウンター・床面



本棚・戸棚類



遊具・ベンチ類



プラント・設備類  
(耐油・耐溶剤性必要な場合)

※上記のような塗装部位については弊社営業所にご相談ください。

## 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
1液ファインウレタンU100	各色	つや有り	15kg	塗料用シンナーA	3~8(1回目)	0.12~0.16	はけ/ウールローラー
		7分つや有り			8~13(2回目)		
		5分つや有り	3kg		3~8(1回目)		
		3分つや有り			3~8(2回目)		

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## さらに シリーズ商品を添加すれば、こんなことも...

### 現場で弾性仕様に変更可能

※「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を入れるだけで「1液ファインウレタンU100」の性能を損なうことなく弾性になります。硬化剤ではありませんので、混ぜた翌日から1週間程度使用することができます。(つや有り専用)

### 現場でつや調整可能

※「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加することで、つや調整ができます。

※ご使用前に、必ずよく振ってください。

## 標準塗装仕様 塗り替え

### ●各種外壁 吹付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

※サイディングボードなどの塗り替えて、下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。

### ●コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	パーフェクトフィラー	1	0.20~0.45 0.50~0.90	4時間以上	水道水	3~8 1~5 2~5	ウールローラー 砂骨ローラー タイルガン
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

※ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が遅まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することを推奨します。(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます。)

### ●一般鉄部・FRP・硬質強化ビニール

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り※	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、ハイボンファインプライマーII、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマー、エスパワーンエースなども使用できます。

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

### ●木部(破風など)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	よごれ、付着物などサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	1液ファインウレタンU100木部下塗り	1	0.12~0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13	はけ・ウールローラー

## 標準塗装仕様 新設

### ●コンクリート面 吹付けタイル仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り(注)	ファイン浸透シーラー(透明・ホワイト)	1~2 <sup>※1</sup>	0.16~0.20	4時間以上5日以内 <sup>※2</sup>	無希釈	-	ウールローラー・エアレススプレー
主材	タイルラック EMA-S ベース100K	1~2 <sup>※</sup>	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

※主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

※1)ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

※2)高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

注)上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)、一液浸透シーラーなども使用できます。

### ●DANタイルの上塗りとして使用できます。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り(注)	水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	はけ・ウールローラー	
中塗り	ベース吹き	D A N タ イ ル 中 塗	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	タイルガン
	模様吹き	D A N タ イ ル 中 塗	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
ヘッド押さえ 必要に応じてヘッド押さえを実施する。(押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き工程直後から30分の間に凸部を押さえる。)								
上塗り	上塗り(1回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレススプレー
	上塗り(2回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

注)上記下塗り以外に、水性カチオンシーラー・ホワイト、浸透性シーラー(新)、一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーなども使用できます。

※ニッペ1液ファインウレタンU100弾性仕様は、ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加、混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1 つや有りのみ適用)

## 施工上の注意事項

- 弾性タイプ(JIS A 6909 防水複層塗材E/RE)の上塗りに使用する場合は、必ず弾性添加剤を規定量添加したうえでご使用ください。なお、高弾性タイプ(JIS A 6021 建築用塗膜防水材)への使用はお控えください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、葉巻サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リジン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目粗し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 着しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッケリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗る場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆してラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- やにかが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにかを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやにかが向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツト科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツト科学社製 HI500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合)の条件下で塗装してください。
- 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材力チオンファイバー、ニッペファイバー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- カウウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペバークトNBシーラーを除去を行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペバークトオフプライマーを下塗りする取、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- スチールドア枠回りなどシーリング材との接触が起こる部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、はく離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シーターの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れい力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに牙えたイロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に牙えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や牙えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りではできる限り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- クロスの上の塗装は避けてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ・珪藻土・塩ビラミネート、プラスチック、ゴム・パッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は入容器が均一になるようかくはんしてください。特につや調整品では、つや消剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項 (ニッペ 1液ファインウレタンU100 ホワイト)

横倒禁止

- 本来の用途以外にご使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を読み取ってください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。  
- 禁煙です。
- 容器を密閉しておいてください。
- 容器を接地/アースをとってください。
- 防塵型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 屋外または換気のよい場所でのみ使用してください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 口をすくいでください。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。

- 漏出物を回収してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
- 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けてください。
- 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断/手当を受けてください。
- 目の刺激が疑われる場合は：医師の診断/手当を受けてください。
- 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合は洗濯してください。
- 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。
- 施設にて保管してください。
- 換気のよい場所にて保管してください。容器を密閉し、涼しいところにおいてください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。

- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 容器は、つり上げしないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 日光から遮断し、換気のよい場所で保管してください。輸送中も50℃以上温度は高くしないで行ってください。
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。



## 危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/(気道刺激性)呼吸器への刺激の恐れ又は(麻酔作用) 眠気又はめまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

- 本カタログの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

## 日本ペイント株式会社

- 北海道支店 ☎011-370-3101
- 東北支店 ☎022-232-6712
- 関東支店 ☎03-5479-3614
- 北関東支店 ☎03-5479-3614
- 中部支店 ☎052-461-1960
- 近畿支店 ☎06-6455-9608
- 中国支店 ☎082-281-2180
- 四国支店 ☎0877-56-2346
- 九州支店 ☎092-751-9861

●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W189

TY190205T  
2019年2月現在